

# 特集

# 新しい大学選びを促す教育接続

合格可能性を第一義とした大学選びでは、手段であるはずの受験が目的に置き換わり、入学後に問題を抱えることになりがちだ。

小中高の「今の学び」が、将来の職業や実社会と

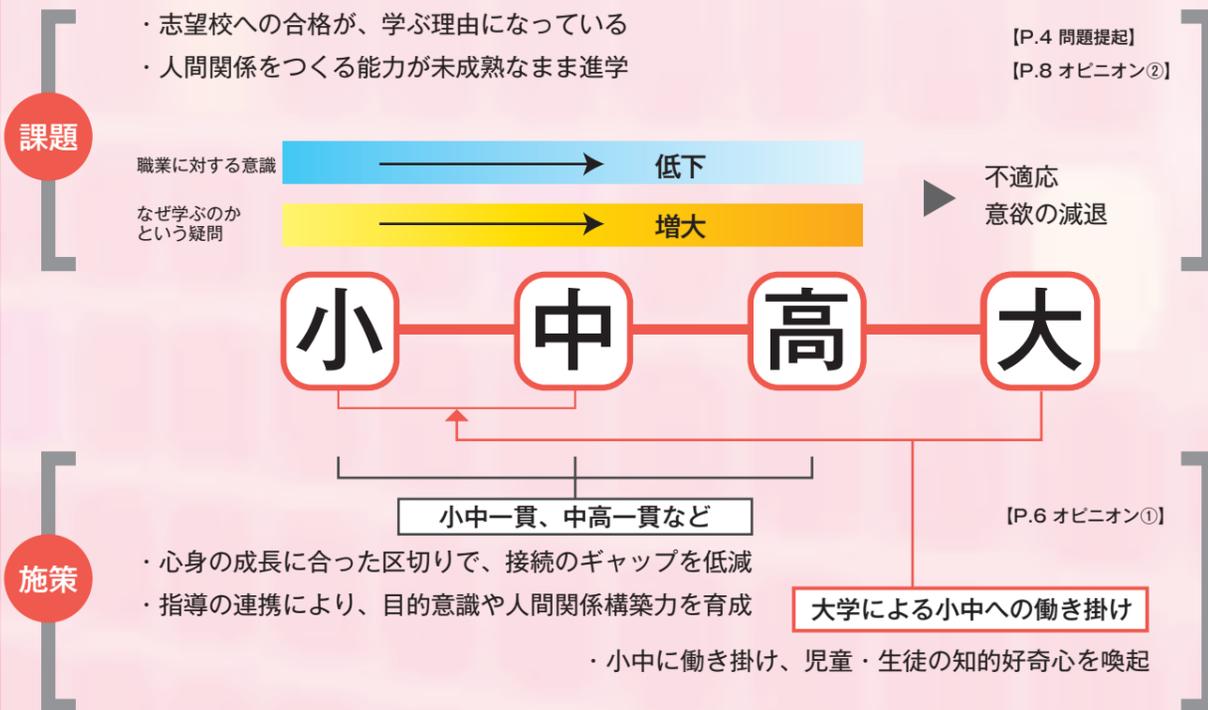
どのように関係しているのかを理解させ、

高めた学びへの意欲を進級や進学によって途切れさせることなく、

大学選びにつなげることが重要だろう。

小中高の教育接続の動向を確認し、大学のかかわり方を考える。

## 教育接続の現状を俯瞰する



## 異なる学校種が連携して学びの目的意識を育てるアプローチ

### 大学による働き掛け

- 大 → 小・中 小・中学生向けの教育プログラムを開発。今の学びが大学や社会とつながることを理解させる [P.16 南大阪地域大学コンソーシアム]
- 大 → 小・中 社会のしくみや学びの意義、大学の研究内容などを児童・生徒に伝え、将来を考える機会を提供 [P.18 田園調布学園大学 神田外語グループ 長岡技術科学大学]

### 小中高による取り組み

- 小-中 成長段階と9年間の継続性を重視した教育で、学習意欲が向上 [P.10 三鷹市立小・中学校]
- 中-高 将来への視野を広げる中高一貫教育で、学びと社会とのつながりを意識させる [P.12 法政大学中学高等学校]
- 小-中-高 小中高が系統的なキャリア教育でビジョンを共有。夢や目標を育む [P.14 新潟県教育委員会]

### 非教育機関による取り組み

- 企業・団体 → 小・中 未来を思い描かせ、「価値のある生き方を選ばせる」ためのコミュニケーション [P.20 企業・団体]

### 大学は

- 小中高の学びが、大学の学びや社会生活とつながることの発信を
- 児童・生徒の育成に積極的にかかわり、学びの目的意識の育成を

[P.22 まとめ]